

会 議 録

会 議 録	山陽小野田市高齢者保健福祉推進会議			
開 催 日 時	平成 23 年 11 月 10 日（木）午後 4 時 00 分～午後 5 時 30 分			
開 催 場 所	山陽小野田市役所 本庁舎 3 階 第 2 委員会室			
出 席 者	養護老人ホーム長生園 山陽小野田市社会福祉協議会 小野田在宅介護者の会とらいぼっど 山陽小野田市小野田歯科医師会 山陽小野田市地域包括支援センター運営協議会 山口県薬剤師会厚狭支部 小野田薬剤師会 山口県看護協会小野田支部	今 田 格、 岡 本 志 俊、 佐 伯 友 枝、 多 原 康 成、 中 島 嘉 哉、 原 田 美 智 子、 藤 原 哲、 山 田 智 子	小野田ボランティア連絡協議会 山陽小野田市民生児童委員協議会 市 民 代 表 山口県理学療法士会 厚狭歯科医師会 山陽小野田市老人クラブ連合会 小野田市医師会	尾 崎 燎 子 河 口 軍 紀 白 川 涉 永 池 博 己 野 村 忠 正 平 田 武 森 田 純 一
欠 席 者	市 民 代 表 特別養護老人ホーム高千帆苑 厚 狭 郡 医 師 会 山口県作業療法士会 山陽ボランティア連絡協議会 学識経験者（宇部フロンティア大学）	麻野美智子 川 野 広 子 河 村 芳 高 信 久 美 佐 子 水 田 愛 子 溝 田 順 子	委 員 数 2 1 人 出 席 者 数 1 5 人 欠 席 者 数 6 人	
事務担当課 及び職員	山陽小野田市長 高 齢 障 害 課 長 介 護 保 険 係 係 長 地域包括支援センター所長 高 齢 福 祉 係 主 任 主 事	白 井 博 文、 堀 本 正 春、 古 屋 憲 太 郎、 尾 山 貴 子、 村 田 直 美	健 康 福 祉 部 長 高 齢 障 害 課 課 長 補 佐 高 齢 福 祉 係 係 長 地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー 技 師	田 所 栄 木 本 順 二 矢 野 亜 希 子 片 岡 雅 美
会 議 次 第	1 辞令交付 2 委員自己紹介 3 市長あいさつ 4 会長及び副会長の選出 5 会長あいさつ 6 議事（審議事項） (1) 高齢者福祉計画策定の流れ (2) 第4期山陽小野田市高齢者福祉計画報告について (3) 第5期山陽小野田市高齢者福祉計画の概要について 7 その他			
会 議 結 果	1 について 市長が辞令交付を行なった。 2 について 委員が自己紹介を行なった。			

3について

市長があいさつを行なった。

続いて、事務局職員が自己紹介を行なった。

4について

会長・副会長の選任について委員に諮ったところ事務局一任となり、事務局から、会長に森田委員、副会長に河口委員を選出したい旨提案があり、全会一致で承認された。

5について

会長、副会長がそれぞれあいさつを行なった。

6について

(1) 高齢者福祉計画策定の流れ

事務局が説明を行なった。(資料 p.1 参照)

質疑はなかった。

(2) 第4期山陽小野田市高齢者福祉計画報告について

事務局が説明を行なった。(資料 p.2～p.23 および別冊資料 2～4 参照)

質疑応答は次の通り。

委員：p.18～p.23 までの実績の中で、「23年度(8月まで)」という書き方がしてあるが、今後も数字は変わらないのか。

事務局：23年度は8月までで把握できている数字なので、それ以降数字が変わってくるものもある。

委員：しかし、p.21(3)イ(ウ)の家族介護者介護見舞金支給事業については、数が増えるということはないと思うが。

事務局：家族介護者介護見舞金支給事業については、高齢者の実態調査に基づいているので、この数字は今後変わることはない。ただし、他の事業については、今後数が増えるものもある。

委員：p.23(3)エ高齢者相談事業については今後数が増えるにしても少ないような気がする。

事務局：高齢者相談事業は社協に委託しているので、今後数は増える。高齢者が相談できるような体制づくりに努める。

委員：p.22の2(2)ア寝具乾燥事業について、具体的にもう少

し説明がほしい。

事務局：寝具乾燥事業は、7月と1月に実施している。市内業者等で訪問、回収、クリーニングして届けてくれる業者から、見積りをとって契約するため、毎年度委託業者は同じとは限らない。内容としては、布団、毛布、シーツについてのクリーニングをするものである。

委員：p.20ウ(イ)ケアマネジャー連絡会というのがあるが、ケアマネの苦情が私たちの耳によく入ってくるが、ケアマネの質の向上をもう少し考えてほしい。ケアマネにとっては些細な一言でも、介護者にも介護される本人にとっても心の傷となることがあり、それを回復するのに大変な努力をしている人もいる。

事務局：通常、苦情等が入った場合、皆さんに伝えた方が良い内容の場合は、こういう意見が出ているとかこういうところに注意してほしい等をケアマネジャー連絡会等で周知をしている。ただ、具体的な案件になると、できれば直に地域包括支援センターに連絡をしていただけると、個別にケアマネに改善や相談をしていくと同時に、実際に介護者のフォローにもあたることができると思う。

委員：高齢者を労わる気持ちや人格の尊重といったところの問題についても介護システムに取り入れていってほしい。

(3) 第5期山陽小野田市高齢者福祉計画の概要について

事務局が説明を行なった。(資料p.24~30および別冊資料1参照)
質疑応答は次の通り。

委員：p.29の4(3)について、現状はどうか。

事務局：現状は、その範囲内でおさまるように施設整備をしている。ただ4期は療養病床の転換があったので、特養や老健といった比較的大規模な整備が出来たが、第5期は転換分がないので、大規模な整備はないが、小規模多機能やグループホームといった地域密着型サービスについては整備していきたい。基準を満たす形で計画を策定していきたいと考えている。

7について

事務局が次回の会議について連絡した。

次回会議は、11月24日(木)14時30分から開催する予定。

	<p>一週間前には素案を各委員宛てに送付する予定なので、ご検討をお願いします。次回の際に素案に対するご意見を頂戴したい。</p>
--	--

～ 健康福祉部長挨拶の後、閉会。 ～